

券を配布▽4月16日(土)14時からエドワード・ゴリーの絵本翻訳者でアメリカ文学研究者の柴田元幸さんの講演会「エドワード・ゴリーを見る／読む／訳す楽しみ」を美術館1階鋼材室で開く。先着130人。同日12時から整理券を1階ロビーで配布する。聴講無料。

甲南学園ゆかりの作家だち 長谷川三郎と菅井汲 抽象への眼差し 4月5日(火)～6月5日(日)、神戸市灘区岩屋中町4のBBプラザ美術館(078・802・9286)。

一般400円、大学生以下は無料。65歳以上は200円。月曜休館。

伝統組子作家「阿曾一弘」新作展 4月30日(土)まで。神戸市中央区波止場町の神戸波止場町TEN×TEN(078・351・1355)。

三ツ組手という技法を使い、ツノ亀甲型に仕上げた円筒形のスタンドなどを展示。入場無料。水曜休館(祝日の場合は翌日休館)。

## 映画情報

「神戸の映画・大探索」上映会 神戸1921・1952・1984 5日(土)、6日(日)。神戸市長田区腕塚町5の神戸映画資料館(078・754

・8039)。5日13時「灯をともした人々」+報告会▽14時10分「朝の波紋」▽16時10分「セピアタウン」。6日13時半「セピアタウン(白羽弥仁監督来館)」。▽15時20分「灯をともした人々」▽15時50分「朝の波紋」。参加費(1日通し)は1000円。



「灯をともした人々」は1921(大正10)年の川崎・三菱大争議の記録映画を素材に日本労働史を描く貴重な作品▽「朝の波紋」(1952年)は高峰秀子、池部良、岡田英次、三宅邦子らが出演。神戸の今昔が楽しめる▽「セピアタウン」(1984年)は白羽監督が初めてメガホンを取った青春映画。神戸、芦屋、西宮でロケ。

## 募 集

毎日文化センター神戸教室の講座「韓国語入門初級」受講者 毎週木曜12時40分～14時10分、神戸市中央区栄町通4の毎日新聞神戸ビル3階。読み、書き、会話の基本を楽しく勉強し、韓国文化に触れてみませんか。講師は金潤子さん。受講料は3カ月11回2万3760円、文化センターが初めての方は入会金が必要。申し込みは同文化センター(06・6346・8700)。